

再評価【番号4】

**広域河川改修事業
一級河川吉野川水系 多々羅川**

3. 整備効果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

↓
計 **被害軽減期待額**
= 便益 B
377.1億円
(現在価値化後)

費用 C = 116.8億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 3.2$$

経済被害の域内・外への波及被害

↓
出水1回当たり 1.4億円の被害を軽減

【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】

交通途絶による被害

↓
出水1回当たり
1百万円の被害を軽減

水害廃棄物の処分

↓
出水1回当たり
25百万円の被害を軽減

↓
出水1回当たり被害額
= 1.7億円



4. 多様な効果

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

浸水区域内人口	1,620人
浸水区域内の災害時要援護者数	740人
最大孤立者数	1,268人

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

機能低下する社会福祉施設数	
大松幼稚園(定員90)	他
	2 施設

→災害発生時の機能維持

ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口	1,064人
ガス停止による影響人口	558人
上水道停止による影響人口	120人
通信(固定)の停止による影響人口	1,084人

→住民生活環境の維持



H16台風23号 出水時

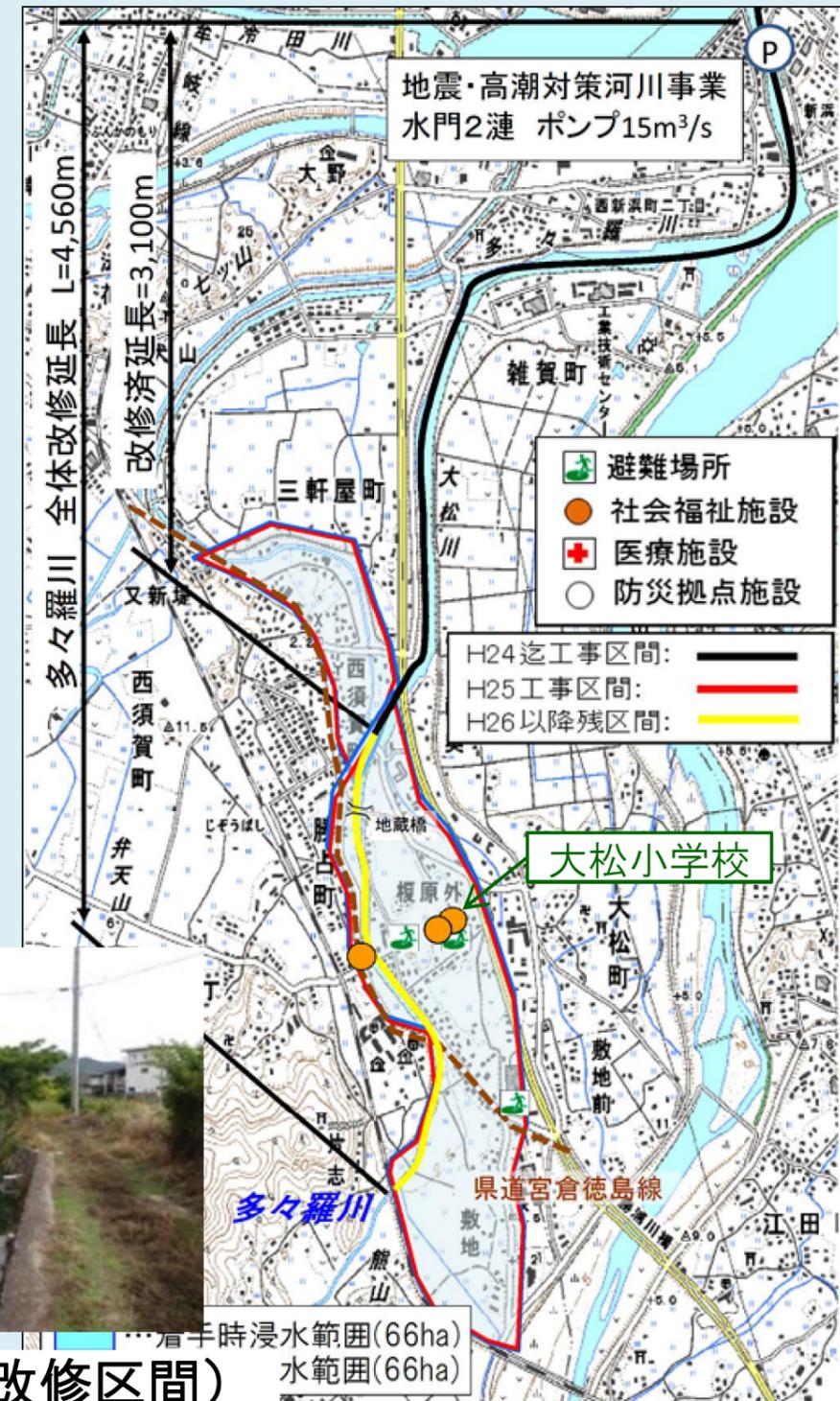


大松幼稚園



平常時 (未改修区間)

【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】



5. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

↓
計 被害軽減期待額
= 便益 B
377.1 億円
(現在価値化後)

費用 C = 116.8 億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 3.2$$

出水 1 回当たり被害額 = 1.7 億円

(交通途絶被害、経済の波及被害、廃棄物の処分費等)

貨幣価値に表れない整備効果

【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】

人的被害の軽減

- ① 浸水区域内人口の減少
- ② 浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③ 浸水区域内最大孤立者数の減少

医療・社会福祉施設等の機能低下による被害軽減

- ① 機能低下する社会福祉施設数

ライフライン停止による波及被害の軽減

- ① 電力の停止による影響人口
- ② ガス停止による影響人口
- ③ 上下水道停止による影響人口
- ④ 通信の停止による影響人口

■ 今後の対応方針 (案)

事業継続